



2025年 5月26日
第196号

JR東労組 Yokohama

JR東労組横浜地本

発行人 梶田 優一

編集 情宣 担当

ホームページ

<http://www.jreu-yokohama1.jp/>



イーハトーブ

5月25日号

5月7日、JR東労組は会社より「JR東日本グループのさらなる飛躍に向けた新たな組織と働き方について」と題した「組織再編」と「新たな人事・賃金制度」の提案を受けた。

今回提案された賃金制度を総じて表現すると「競争型年功賃金」と言うべきではないだろうか。減額されるが昇給は残るので年功賃金はかろうじて維持される。しかし、これまでの定期昇給は廃止され「能力昇給」として同一の等級内でも6つの区分にわけられ、能力の伸長によって昇給額に差がつけられているのが特徴だ。初任給を大幅に引き上げているが、昇給額の減額により一番「お金を必要とする40歳前後で、賃金カーブは新制度が旧制度を下回る。賃金を上げるには試験を受けるしかないが、現在も「どれだけ頑張っても試験に受からない」との声が少なくないなかで、「少しでも上の区分に行きたい」「早く上位職に就きたい」というものだけでなく「下の区分には下がりたくない」などの心理が働き、社員間での摩擦が生じることは必至だ。

「能力の伸長」とは何か。評価を人間が行う以上、その人の主観に左右されかねない。そうなるとうまい評価を受けようと、飽くなき競争が生まれる。現場長の机を毎朝拭き、お中元にお歳暮、バレンタインまで。笑い話ではなく実際にあった話だ。さらに競争が行き詰ると、他人を蹴落とすために「チクリ」が始まる。

鉄道の安全は、長らく経験に裏打ちされた高い技術力とチームワークによって支えられてきた。昨今、東海道線での電化柱倒壊衝突事故や新幹線の列車分離、先日山手線の架線切断によるパンタグラフ破損により多くのお客さまにご迷惑をかけるなど、今までにない事故・事象が後を絶たない。

「安全に格差はいらない」と職場からの声があるが、鉄道の安全と仲間の命を守るため、提案された施策に向き合い、仲間との議論で「安全・健康・ゆとり」が担保された職場を創造しよう。

(Y・W)

イーハトーブとは

「注文の多い料理店」や「雨ニモマケズ」などの著者として有名な宮沢賢治による造語です。故郷の岩手県をモチーフとし、彼の心の中にある理想郷を示す言葉です。

社会に目を向け、新しいものを積極的に取り入れ、農民の生活向上のために最後まで尽力した宮沢賢治の生き方に学びながら、私たちも外に目を向け、私たちが安心して働き暮らせる理想郷を実現していこうという想いを込め、イーハトーブというタイトルで情報発信を行います。